

少子高齢化が進む中、医療技術の高度化・効率化への期待は高まるばかりではありますが、中でも医療における領域への情報通信技術 (ICT) の応用は、医療技術の高度化、高信頼化、効率化に重要な役割を担い、地域格差、医療過剰、医療従事者の過負荷、医療費高騰などの社会問題を解決するものと期待されています。一方、モバイルネットワーク、インターネットなどにおいて、世界規模で学術、産業において膨大な成果を挙げてきた ICT は、新たな発展の方向を求め、本学会の多くの研究者、技術者にとって、医療 ICT は新たな研究開発のパラダイムとともに、グローバルビジネスと社会サービスの機会を提供する医工融合の新たな学際領域となっています。例えば、医療現場での情報収集の効率化には電子カルテや X 線画像等のネットワーク共有・管理技術が必須であり、また、遠隔にある病院からインターネット回線などを用いて診断・治療を行う遠隔治療技術や事故現場での救急医療などでは、医療用途に特化した信頼性の高い情報通信システム技術の構築が欠かせませんが、これら技術はいまだ確立されているとはいえ、早急な基盤研究の展開が望まれています。

先端 ICT の単なる医療応用の範疇から医学と工学の融合領域の新理論、新技術の萌芽的な研究から膨大な医工融合領域の中でも先端 ICT を前提とする医療 ICT 分野の学術・産業的位置付けが認知されてきております。また、昨年 11 月に臨時国会において、新法「医薬品医療機器法」が成立し、1 年後に施行されます。このような背景を踏まえ、将来にわたり信頼できる医療社会インフラストラクチャの構築と維持発展のために、医療 ICT 分野のイノベーションを学会として促すことを目的として、本小特集（平成 27 年 4 月号掲載）を企画致します。

1. 対象分野

ディペンダブルな医療社会の構築、維持発展のための情報通信技術全般において、特に無線通信及びネットワークに関連した以下の分野を含む論文を募集します。

- ・物理層及び実装技術（変復調、送受信器構成、アンテナ、など）
- ・MAC 層及びネットワーク技術（センサネットワーク、マルチホップ、MAC プロトコル、セキュリティ、QoS、など）
- ・人体防護と伝搬測定（Specific Absorption Rate (SAR)、電磁両立性、伝搬解析とチャンネルモデル、など）
- ・標準化と応用例（標準化、モデルシステム、リモートヘルスケア、測距・測位、実証実験例、など）
- ・医療機器法制（医療機器、医療 ICT 機器のレギュラトリーサイエンスに関連する理論、技術、実施例など）

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載料が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。 https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (LaTeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で Innovation of Medical Information and Communication Technology for Dependable Society を選択して下さい。[Regular EB] を決して選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 26 年 8 月 1 日（金）必着

5. 問合せ先

安在大祐 名古屋工業大学・大学院工学研究科・情報工学専攻

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL [052] 735-5389, FAX [052] 735-5389 E-mail: mict-eb-com-jp@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 河野隆二（横浜国大）

幹事 安在大祐（名工大）、大野光平（明大）

委員 杉町 勝（国立循環器病センター研究所）、青柳貴洋（東工大）、田中宏和（東芝）、大西輝夫（NTT ドコモ）、井田一郎（富士通研）、原 晋介（阪市大）、宮崎祐行（日立）、李 還幫（NICT）、Jari Iinatti（Oulu Univ.）、Lorenzo Mucchi（Univ. of Florence）

7. 付記

* Web による電子投稿の際、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”に承諾して頂きます。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載料が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>